PAW-1356(21060)

施工説明書

ダイレクトバルブ式便器（床上排水）

メーカー管理用です。

YBC-S40P 系
YBC-S40PMF 系

取付業者さまへ
- この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。
- 施工後は必ず試運転を行ってください。
- お客さまに必ず本書と取扱説明書をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全のために守ってください！

便器を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。
施工前に、この項目をよくお読みいただき、事故のないように正しく取り付けてください。

用語の説明

警告・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ ・・・「注意しなさい！」（必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

⃠ ・・・「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

❗ ・・・「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 警告

水かけ禁止
本体や電源プラグに水や洗剤をかけないでください。
※ 感電・火災の恐れがあります。（100V 電源使用の場合）

分解禁止
絶対に分解や改造は行わないでください。
※ 感電・火災・ケガの原因になります。（100V 電源使用の場合）

ぬれ手禁止
ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
※ 感電の原因になります。（100V 電源使用の場合）

水場使用禁止
バスルーム内など、湿気の多い場所には、設置しないでください。
※ 感電・火災の原因となります。（100V 電源使用の場合）

禁止
電源コードをキズつけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
※ 電源コードが破損し、感電・火災の原因になります。（100V 電源使用の場合）

禁止
ガタついているコンセントは使用しないでください。
※ 感電・火災の原因になります。（100V 電源使用の場合）

禁止
- AC100V 以外では使用しないでください。
- タコ足配線など、定格をこえる使い方はしないでください。

※ 火災の原因となります。（100V 電源使用の場合）

指示実行
電源プラグをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
※ 感電・火災の原因になります。（100V 電源使用の場合）

⚠ 注意

指示実行
陶器は割れものです。
- 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。
- 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。

※ 破損部でケガをしたり、漏水により室内浸水の原因になります。

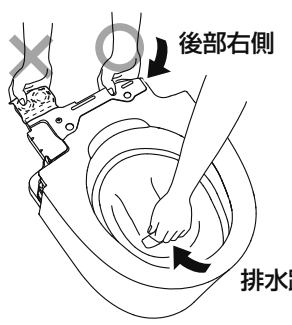
指示実行
止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水し、室内浸水の原因になります。

指示実行
お客さまにお渡しするまでに凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。
※ 凍結破損で漏水し、室内浸水の原因になります。

施工前のご確認

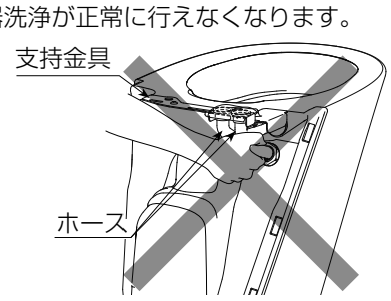
開梱時の注意点

❗ **便器は後部右側と排水路入口の陶器部分を持ってください。**



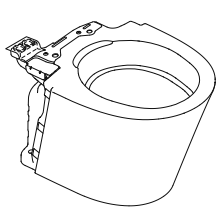
⃠ **便器後部のホースや支持金具を持たないでください。**

※ ホースの外れや支持金具の変形により、漏水の原因となったり、便器洗浄が正常に行えなくなります。



部品の確認（梱包内容を確認してください。品番によって同梱される部材が変わります。）

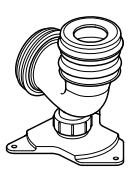
便器



便器：1 台

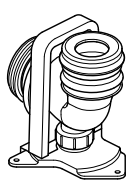
排水ソケット

排水高さ 120mm の場合



排水高さ 120mm ソケット：1 個

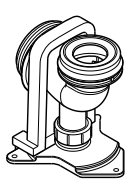
排水高さ 120mm(耐火仕様) の場合



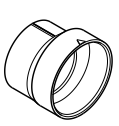
排水高さ 120mm ソケット (耐火仕様)：1 個

排水ソケット

排水高さ 148mm、155mm(耐火仕様) の場合

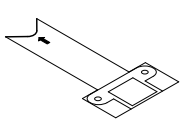


排水高さ 155mm ソケット (耐火仕様)：1 個

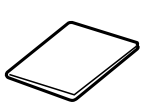


偏芯アダプター：1 個

施工説セット



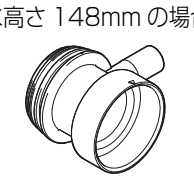
施工型紙：1 枚



施工説明書：1 部

排水合流アダプター

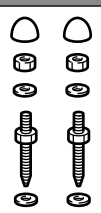
排水高さ 148mm の場合



排水合流アダプター：1 個

床固定用木ねじ類

固定用木ねじ
(φ 6 × 40)：3 本
ワッシャー（φ 23）：3 本
※ AY 仕様を手配の場合は、AY ボルト（AY-86D：3 本、AY-23W：3 本）が同梱されています。



化粧キャップ：2 個
ナット：2 個
床固定用木ねじ
(φ 6.3 × 45)：2 本
ワッシャー（φ 18）：4 個

固定部材類

固定用粘着材：1 個

床固定部材：1 個

使用する水について

- 機能部に同梱している施工説明書に記載の水質・水圧条件で 接続ください。

止水栓について

- 機能部に同梱されている止水栓を使用します。
- 標準施工図にしたがって、給水管を取り出してください。
- 止水栓を取り付けるまで、異物が混入しないように給水管にはプラグ（LF-7T を推奨）などでカバーをしてください。
  ※ 通水時に異物が入り、止水不良となる恐れがあります。
- 止水栓の向きは、接続時にホースが折れないように調整してください。
- 給水管はぐらつかないように、しっかりと固定してください。
  ※ 漏水、給水管の破損の原因になります。

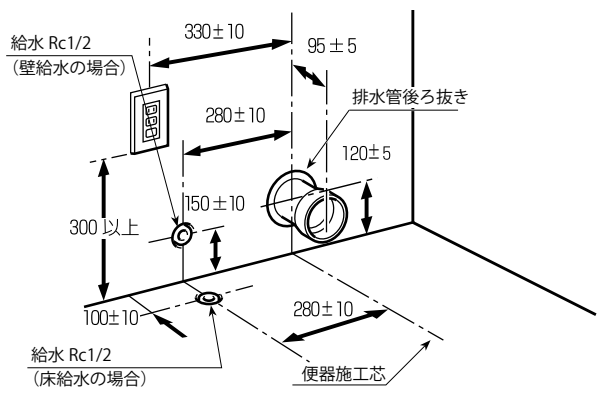
排水高さについて

- 排水高さ 120mm、148mm、155mm に対応しています。
- 鉛管には対応できません。
- 排水高さが指定の位置であることを確認してください。
  ※ 排水管が壁寄りに取り出されている場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。
- 便器を取り付けるまで、異物が混入しないように、排水管にはビニール袋などでカバーをしてください。
  ※ 異物が入り、洗浄不良となる恐れがあります。

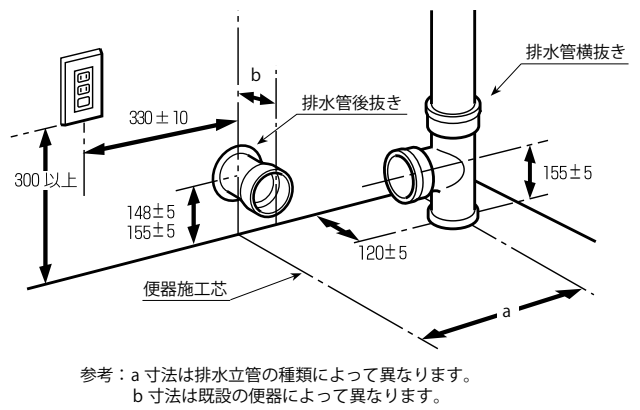
設置場所の確認

※ コンセントの詳細は、機能部の施工説明書の「電源の確認」を参照ください。

排水高さ 120mm の場合



排水高さ 148mm、155mm の場合



参考：a 寸法は排水立管の種類によって異なります。
b 寸法は既設の便器によって異なります。

⚠ 注意
- 給水管、排水管の取出し位置は、図面寸法を守ってください。
  ※ 誤って排水管を壁寄りに取り出した場合は、機能部と壁が干渉して施工できない恐れがあります。
- 排水高さ 148mm 接続は鋼管には対応していません。耐火二層管を使用する場合は既設配管を市販の耐火被覆材で覆ってください。
- 横引排水継手（サティス S タイプ専用）を使用する場合は、専用設置条件を参照してください。

株式会社 LIXIL

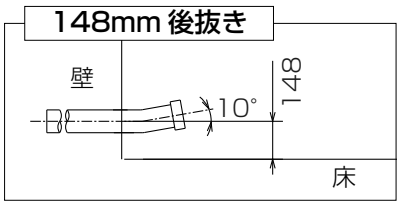
●商品・施工方法についてのお問い合わせ
お客さま相談センターまで
ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間　平日　9:00～18:00
土日・祝日　9:00～17:00
（ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く）

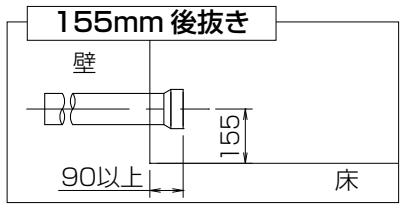
既設配管利用時の注意

下記の寸法を満たさない場合は、排水位置の変更が必要となります。

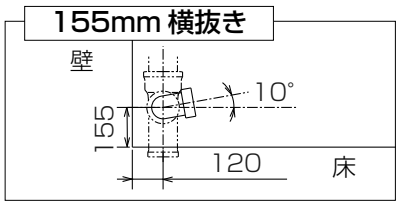
148mm 後抜き



155mm 後抜き



155mm 横抜き

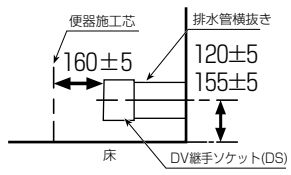


155mm 横抜きで塩ビ製ベンド管（CF-11B）を利用の場合
10° 角度が付いている場合は、排水管が床と水平になるように調節してください。

横引排水継手 (サティス S タイプ専用) を使用する場合の専用設置条件

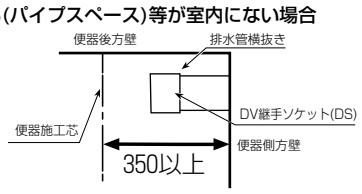
下記寸法を満たさない場合、施工不良の原因になります。

排水管立ち上げ寸法(正面視)

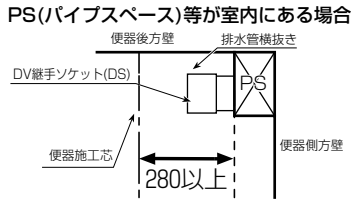


対応間口寸法(上面視)

PS(パイプスペース)等が室内にない場合



PS(パイプスペース)等が室内にある場合



横引排水継手（サティス S タイプ専用）を使用する場合は、塩ビ管に接続してください。
※ 鋼管、耐火二層管には対応していません。

施工手順

は本書を、 は各種使用商品の施工説明書に従って正しく取り付けてください。

施工高さ120mm 施工高さ155mm 後抜きの排水の場合
施工高さ120mm 施工高さ155mm 横抜き排水の場合
施工高さ148mm の場合

1 止水栓の取付 ※機能部同梱の止水栓を使用。

2 (給排水統合仕様の場合) キャビネット・トラップカバー・手洗器の取付け

3 (施工高さ120mm、155mm横抜き排水の場合) 塩ビ製ベンド管 (CF-11B)、横引排水継手 (サティスSタイプ専用) の接続

4 (排水高さ148mmの場合) 既設排水管の切断

5 (排水高さ148mmの場合) 偏芯アダプターの位置決め

6 (排水高さ148mmの場合) 偏芯アダプターの接着

7 (給排水統合仕様の場合) 排水合流アダプターの取付け

8 排水ソケットの位置決めと固定

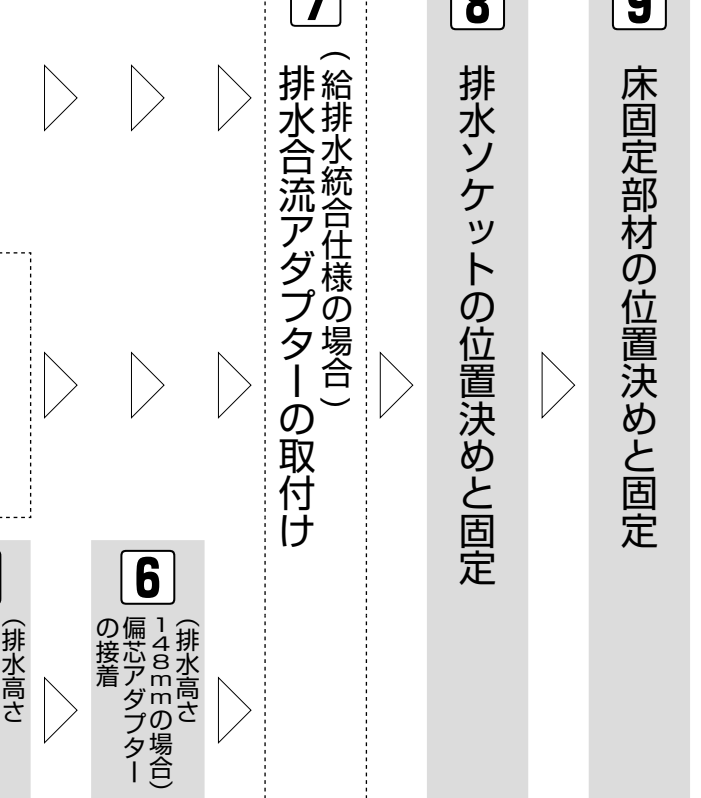
9 床固定部材の位置決めと固定

10 便器の取付け

11 機能部の取付け・試運転

12 (給排水統合仕様の場合) 前パネル・配管カバー等の取付け

施工のポイント

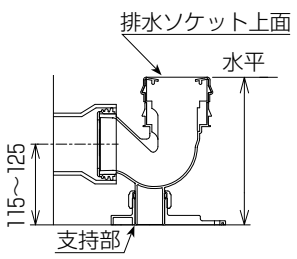


保護テープ
禁止 機能部施工するまで外さない。

Point 6
強く締めすぎて便器を割らないこと。
＝10 便器の取付け

Point 1
塩ビ接続用パッキンの表面と排水直管の内面に石けん水を塗布して施工すること。
＝ 8 排水ソケットの位置決めと固定

Point 4
排水ソケット上部が床と水平となるように排水直管に接続し、排水ソケットの高さを調整してください。
調整可能な範囲は支持部から 115 ～ 125 mmです。
※排水芯高さが床から 115 ～ 119 mmの場合は、支持部を 10 mm切断してから施工してください。切断しないと排水ソケットの取り付けができません。
＝ 8 排水ソケットの位置決めと固定



Point 3
施工型紙を使用して位置決めすること。
＝ 9 床固定部材の位置決めと固定

Point 4
切粉等のゴミが付着しないようにしてください。
付着している場合はきれいに取り除いてください。
※便器の固定不良の原因になります。
＝ 9 床固定部材の位置決めと固定

Point 4
切粉等のゴミが付着しないようにしてください。
付着している場合はきれいに取り除いてください。
※便器の固定不良の原因になります。
＝ 10 便器の取付け

Point 5
気温が低い場合、固定用粘着材が固くなることがあります。
①開梱時にあらかじめズボンのポケットに入れて温める。
② 20 ～ 30℃のぬるま湯で温める。
など柔らかくしてからご使用ください。
※ぬるま湯には直接入れず、包装ごとビニール袋に入れて暖めてください。
＝ 10 便器の取付け

Point 7
固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。
＝便器の取付後のご確認

施工方法

1 止水栓の取付け

機能部同梱の止水栓を機能部の施工説明書を読んで、施工してください。

2 （給排水統合仕様の場合）キャビネット・トラップカバー・手洗器の取付け

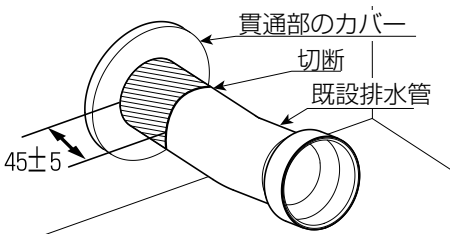
施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

3 (施工高さ 120mm、155mm 横抜き排水の場合) 塩ビ製ベンド管 (CF-11B)、横引排水継手 (サティスSタイプ専用) の接続

横引排水継手（サティスSタイプ専用）を使用する場合は同梱の施工説明書を読んで、施工してください。

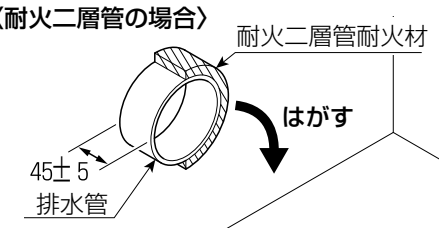
4 （排水高さ 148mm の場合）既設排水管の切断

(1) 既設の排水管、耐火二層管を壁より 45mm の位置で切断する。
排水管の貫通部にカバーがしてある場合、カバーは外さずに、カバーの先端から測定してください。



(2) 切断した排水管の外側を清掃する。
耐火二層管の場合は、壁より 45mm の間の耐火材をはがし、排水管の外側を清掃してください。

〈耐火二層管の場合〉

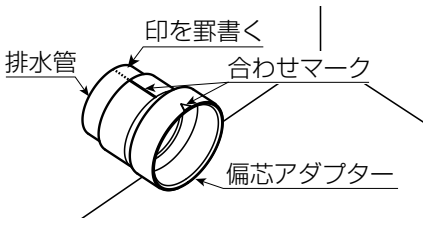


⚠注意

- 排水管は、切断面が壁と平行になるように切断してください。
  ※切断位置が正確でないと漏水、臭気発生の原因になります。
- 排水管の外側が接着面になりますので、バリ・異物の付着・汚れがないように綺麗に清掃してください。
  ※バリ・異物の付着・汚れがあると、漏水、臭気発生の原因になります。
- 誤って排水管を短く切らないようにしてください。
  ※漏水の原因になります。

5 （排水高さ 148mm の場合）偏芯アダプターの位置決め

(1) 排水管の頂点に排水管に偏芯アダプターの合わせマークを用いて仮接続し、排水管の頂点に印を罫書きます。



⚠注意

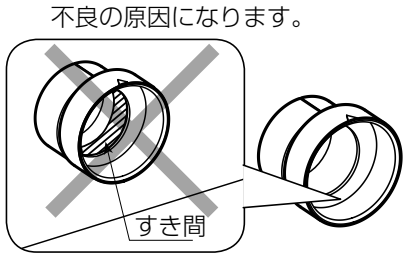
- 偏芯アダプターは、上下逆向きや横向きに接続しないでください。
  ※接続方法を誤ると、詰まり・排水不良の原因となります。

6 （排水高さ 148mm の場合）偏芯アダプターの接着

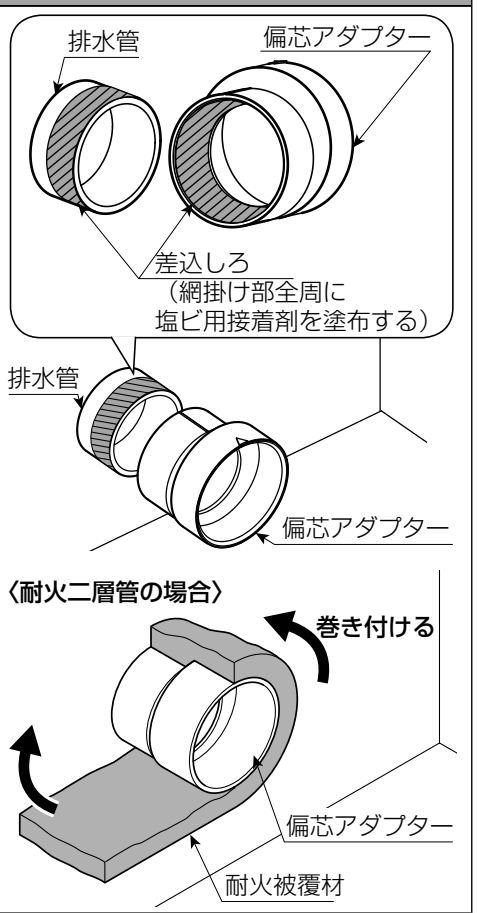
(1) 塩ビ用接着剤を塗り、接着する。
排水管のバリや汚れを除去し、排水管と偏芯アダプターの差込しろ (網掛け部分) に塩ビ用接着剤を 2、3 回重ね塗りし、接着します。

⚠注意

- 排水管と偏芯アダプターの接着は両方確実に塗布し、ぴったりと差し込まれていることを確認してください。
  ※漏水・臭気発生・詰まり・排水不良の原因になります。



耐火二層管の場合は市販の耐火被覆材を縦 100mm、横 430mm にカットし、排水管と偏芯アダプターを覆うように巻き付け、針金でしばってください。

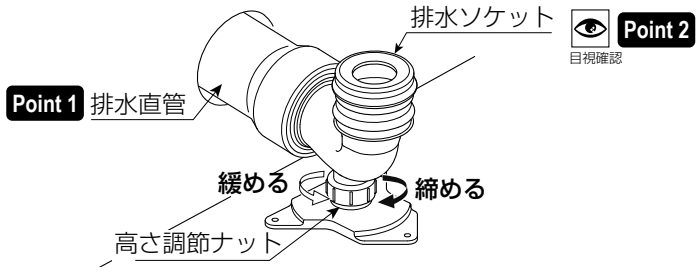


7 (給排水統合仕様の場合) 排水合流アダプターの取付け

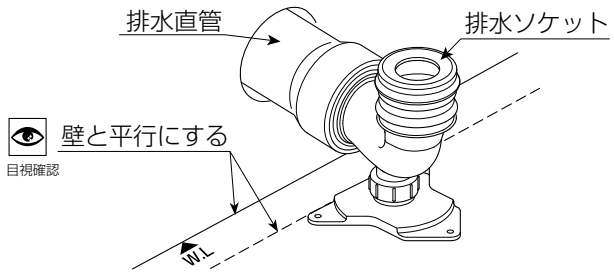
排水ソケット取付前にリトイレ手洗いカウンターの施工説明書をご覧ください。

8 排水ソケットの位置決めと固定

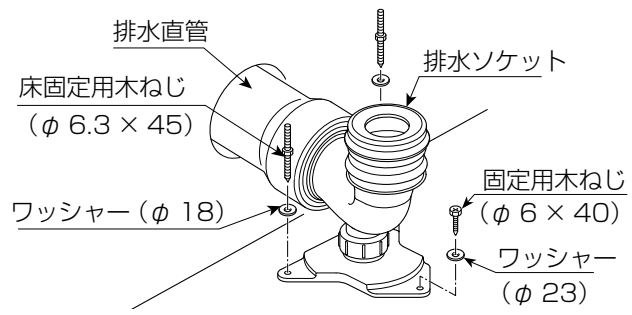
(1) 排水ソケットの高さを調整し、排水直管に接続する。
高さ調節ナットをゆるめ、排水ソケット上部が水平となるように排水直管と接続します。



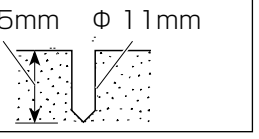
(2) 台座の方向を調節し、位置決めする。
台座と WL が平行になるように調整し、位置決めをします。



(3) 床固定用木ねじで床に固定する。



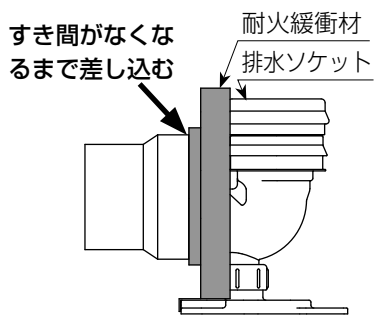
床がタイルまたはコンクリートの場合、AY ボルト（AY-86D）を使用するため下穴（径 11、深さ 55）を開ける。



(4) 排水ソケットの高さ調節ナットを締め、排水ソケットの高さを固定する。
排水ソケット上部が水平となるようにして、高さ調節ナットを締め、排水ソケット本体と台座を固定する。

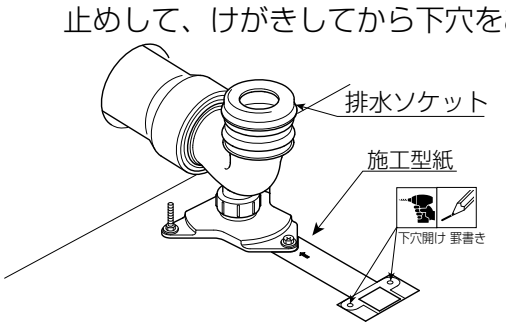
⚠注意

- 排水ソケット本体の上面が水平となるように接続してください。
  ※施工不良となり、漏水する恐れがあります。
- 耐火仕様の排水ソケットは耐火緩衝材がつぶれて、排水直管とのすき間がなくなるまで差し込んでください。
  ※すき間から漏水する恐れがあります。耐火緩衝材の加工は行わないでください。
  ※電動ドライバー等の工具を使用する場合、耐火緩衝材に接触しないよう注意してください。

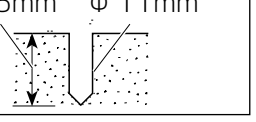


9 床固定部材の位置決めと固定

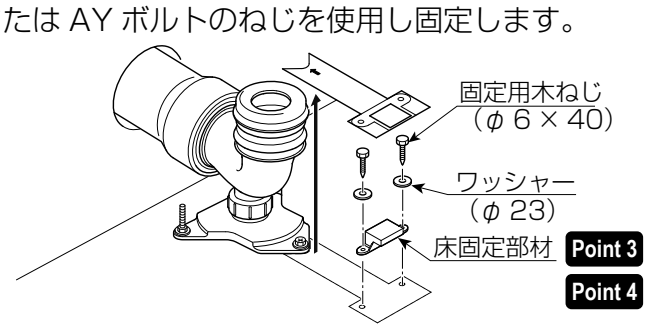
(1) 施工型紙を仮止めし、けがき、下穴をあける。
排水ソケットの先端に合わせて施工型紙をマスキングテープ等で仮止めして、けがきしてから下穴をあけます。



床がタイルまたはコンクリートの場合、AY ボルト（AY-23W）を使用するため下穴（径 11、深さ 55）を開ける。

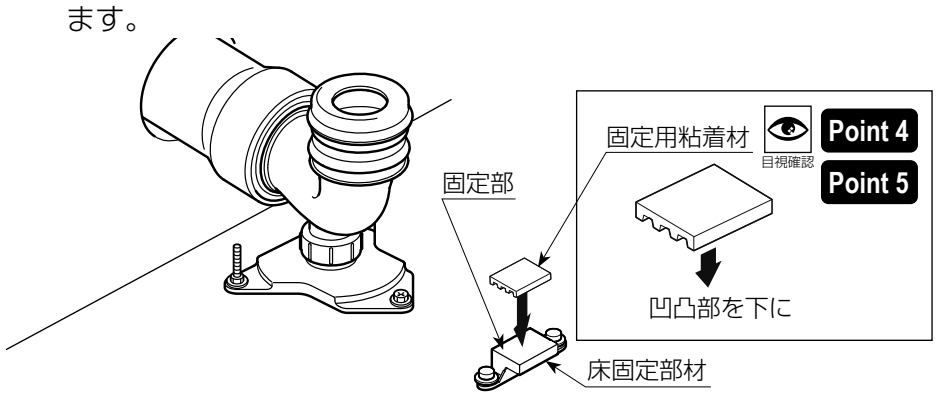


(2) 施工型紙を取り除き、床固定部材を床に固定する。
仮止めした施工型紙を取り除き、床固定部材を固定用木ねじ・ワッシャーまたは AY ボルトのねじを使用し固定します。



10 便器の取付け

(1) 固定用粘着材を床固定部材に置く。
固定用粘着材は凹凸部を下にし、床固定部材の中心に来るよう置きます。



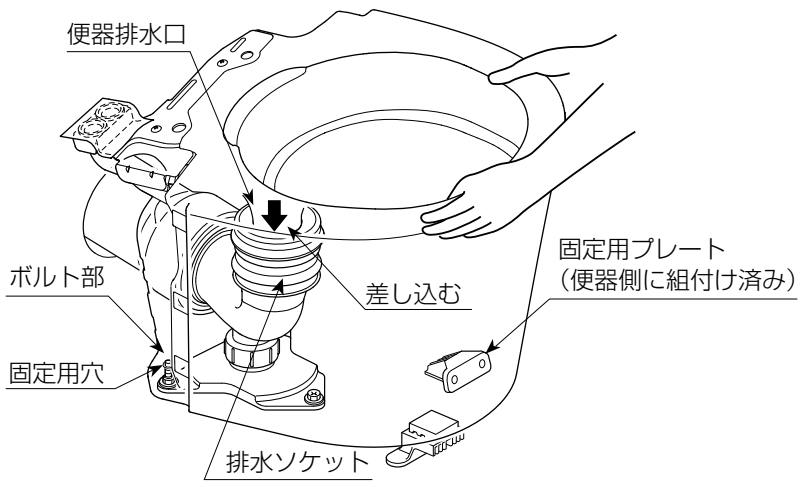
⚠注意

Point 4 ●固定部に水分や切粉等のゴミが付かないようにしてください。
ゴミが付着している場合はきれいに取り除いてください。
※便器の固定不良の原因になります。

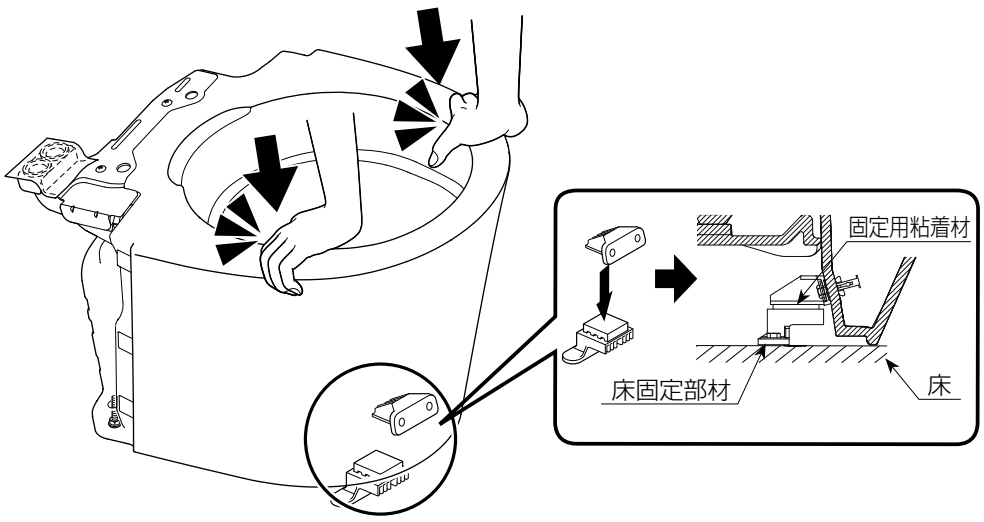
Point 5 ●固定用粘着材をぬるま湯で柔らかくする場合は、直接入れないで梱包ごとビニール袋に入れて 20 ～ 30℃を目安に暖めてください。
※便器の固定不良の原因になります。

●防振シートを使用の場合は、固定用粘着材を取付ける前に、洋風床上排水大便器用防振シートの施工説明書を参照して施工してください。
※便器の固定不良の原因になります。

(2) 便器と排水ソケットを接続し、固定用粘着材を圧着する。
① ボルト部に固定用穴を合わせた状態で便器排水口を排水ソケットに差し込み、中心を調整しながらボルト部・排水ソケットの順にゆっくりおろします。



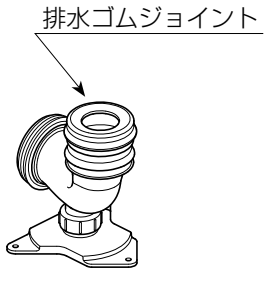
② 便器と床固定部材を固定用粘着材で圧着させる。
便器をゆっくりと下ろしてから便器前側を押し下げ、床と便器の隙間がなくなるまで固定用粘着材をつぶします。



⚠注意

●機能部を取り付けるまでは、保護テープを外さないでください。
※保護部周辺をキズつけたり、ゴミなどの異物が入ると漏水する可能性があります。

●便器は後部右側と排水路入口の陶器部分を持ってください。
※部品が外れや破損してケガしたり、腰を痛めたりする可能性があります。

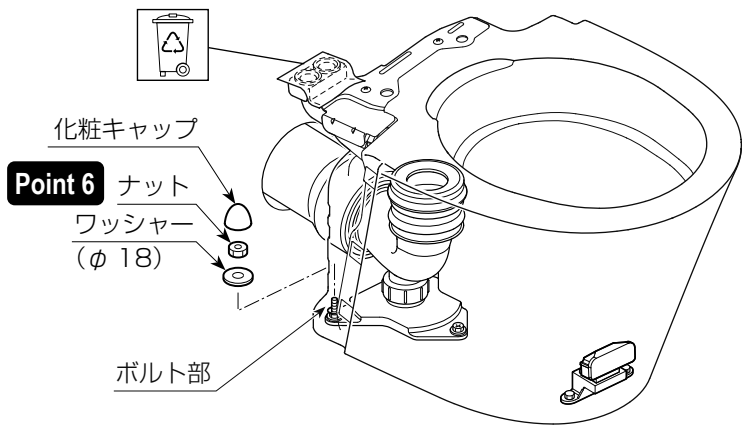


●便器の台座を排水ソケットの上に載せないでください。
※排水ソケットが破損したり、排水ゴムジョイントを傷めて漏水する恐れがあります。

●便器排水口は排水ゴムジョイントの中心にくるように、便器の前後左右がずれないようにしてください。
※汚物、トイレットペーパーなどのつまりの原因になります。

●便器を外す際、便器後部にある床固定用木ねじで便器をキズつけないように注意してください。

(3) 便器をナットで固定し、化粧キャップをつける。
床固定用木ねじボルト部に、ワッシャー・ナットをはめ、便器を固定します。その上から化粧キャップを取り付けます。



(4) 固定状況を確認する。
便器を軽くゆすり、固定されていることを確認します。

⚠注意

Point 6 ●ナットは締めすぎないようにしてください。
※陶器が割れる恐れがあります。

●化粧キャップはねじ固定構造となっています。化粧キャップは必ず回して着脱してください。
※逆に回したり、無理にひきはがした場合、破損の恐れがあります。

11 機能部の取付け・試運転

機能部の施工説明書を読んで、施工してください。

12 （給排水統合仕様の場合）前パネル・配管カバー等の取付け

施工方法は、各商品の施工説明書をご覧ください。

便器の取付後のご確認

- 陶器表面にキズなどがないことを確認してください。
※便器と金具が接触するとスジ状の線がつきます。万一スジ状の線が付いた場合には、市販のメラミンスポンジに十分水を含ませ、こすり洗いをして除去してください。
※それでも取れない場合は、トイレ用酸性洗剤を布に含ませ、1 時間程度付着した部分にあてて放置したあと布でふき取ってください。その後、中性洗剤で洗い流してください。洗剤の気化したガスが故障・破損する原因になるので、便座・便フタは開けたまま十分な換気をした状態で行ってください。
- 施工完了後は、必ず試運転をして「漏水検査、水漏れ検査」を行ってください。
検査内容は、機能部の施工説明書を確認ください。
※取付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 施工完了からお客さまにお渡しするまでに、凍結の恐れがある場合は、便器、止水栓や給水ホースから水を抜いてください。
- 施工完了からしばらく長期間にわたり通水をしない場合は、トラップに水を入れておいてください。
※下水管からの臭気や、有毒ガス、腐食ガス、昆虫などがトイレに入り、家屋・建物、家財への損害や、便器、設備機器の故障、健康被害を生じる恐れがあります。
- 給水管接続及び通水検査、水漏れ点検は必ず水道工事店様が行ってください。

Point 7 ・固定用粘着材を便器に確実に圧着するため、施工完了後 24 時間は便器を上方向に引張るなどの無理な力をかけないでください。
※十分な固定強度が得られなくなる恐れがあります。

- 不要部材を処分する場合は、必ず公的認可を受けている業者に依頼してください。
- 施工終了後 本書を取扱説明書とともに、お客さまにお渡しください。